

市議会からのお知らせ

5月29日、市議会臨時会が開催され、議長に迎五男氏、副議長に浦田征一氏が選出されました。また、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、一部事務組合議会の構成も決まりましたので、お知らせします。(◎は委員長、○は副委員長。敬称略)

議長就任あいさつ

5月の臨時市議会におきまして、第33代議長に就任致しました。光栄ある議長に選ばれた喜びと、その責任の重さを思いまして、身の引き締まる思いでございます。

市議会では平成23年度に「議会改革推進特別委員会」を設置し、私も、島田前議長とともに先頭に立って「議会運営の効率化と機能の強化」や「情報公開の推進と透明性の確保」などに取り組んで参りました。そして、「議会活動は見えにくい」という市民の皆様のご意見にこたえるべく、「議会報告会」を市内6カ所を実施致し、議会の憲法といわれる議会基本条例を制定することができました。また、本会議では質問の明瞭化と答弁の明確化を図るため、代表質問制や一問一答制なども取り入れ、5月の臨時議会では、次回の一般選挙からの議員定数の削減を議決致しました。

今後とも新しく設置しました「議会活性化推進特別委員会」を中心に、議会基本条例の本旨であります「議会と市民の意思疎通を図り、議会に対する市民参加の実現」を図って参りたいと考えております。

現在、荒尾市は廃止された競馬場跡地の活用問題、ラムサール条約に登録された荒尾干潟に設置が検討されているビクターセンターなどの整備、老朽化した市民病院の建て替え、世界遺産登録を目指す万田坑などの懸案事項があります。こうした懸案事項の解決に市行政とともに取り組み、議会活動が市民により信頼いただけるよう議会活動の活性化に取り組んで参りますので、今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。就任のごあいさつと致します。

荒尾市議会議長 迎五男



浦田 征一
副議長



迎 五男
議長

◆議会運営委員会

◎橋本誠剛、○浜崎英利、宮崎司、池田章子、安田康則、百田勝義、島田稔

◆【各常任委員会】

◆総務文教常任委員会
◎百田勝義、○木原眞一、池田章子、橋本誠剛、浦田征一、小川堯利、百田才太、島田稔

◆建設経済常任委員会
◎清水健世、○俣川勝範、谷口繁治、浜崎英利、中尾富枝、迎五男、菰田正也

◆市民福祉常任委員会

◎安田康則、○宮崎司、坂東俊子、野田ゆみ、石崎勇三、宮脇幸生、小田龍雄

◆【特別委員会】

◆議会活性化推進特別委員会

◎石崎勇三、○池田章子、百田勝義、橋本誠剛、小田龍雄、中尾富枝、島田稔

◆議会広報特別委員会

◎宮崎司、○谷口繁治、浜崎英利、清水健世、安田康則、百田才太

◆荒尾市主要課題調査特別委員会

◎宮脇幸生、○野田ゆみ、坂東俊子、俣川勝範、木原眞一、小川堯利、菰田正也

◆【一部事務組合協議会議員】

◆有明広域行政事務組合協議会
安田康則、木原眞一、菰田正也、谷口繁治

◆大牟田・荒尾清掃施設組合協議会
石崎勇三、俣川勝範、小田龍雄、小川堯利、百田才太

☎ 議会事務局 ☎ 63・1628

5/24 きれいに水を浄化しています！ ～九州設備公社 ホタル観賞会～



▶ホタルが驚いて逃げないように、そっと観賞する幼稚園児。

荒尾市浄水センターでホタル観賞会が行われました。九州設備公社の「ホタルプロジェクト」の一環として行われ、今回で6年目を迎えました。浄水センターで浄化された水がきれいであることをアピールするため、きれいな水場でしか育たないホタルを飼育しています。今年3月に放流された約千匹のホタルが元気に成長した姿を見ることができました。放流を行った四ツ山幼稚園の園児たちも観賞に訪れ、間近で飛び回るホタルに歓声をあげていました。

5/23 おいしい新茶が採れました！ ～府本小学校児童 市長に新茶を贈呈～



▶みんなで新茶を飲みながら、「新鮮な味がする」と会話も弾みました。

府本小学校を代表して、6年生の西川悠也さん、高岡紅さん、中山大幹さんが、校内にある茶畑で摘んだ新茶を前畑市長に届けました。同校には50アールの茶畑があり、学校行事の一環として全校生徒で取り組み、今年は30キロの新茶が採れました。新茶は児童に配ったり、府本市で販売したりするそうです。3人は「固くて色の悪い葉を見分けるのに気をつけながら摘みました。おいしいお茶ができてうれしい。」と笑顔で話していました。

5/26 自分たちの地域は自分たちで守る ～深瀬ヶ丘区自主防災組織防災訓練～



▶避難所である深瀬ヶ丘公民館に避難してきた地域住民たち

深瀬ヶ丘区自主防災組織が地域住民の避難訓練を実施しました。市の自主防災組織の中で単独で避難訓練が行われるのは初めてです。車両で巡回する消防団からの避難合図を聞いた住民は、地区住民で結成された地域見守り隊に誘導されながら、公民館へ避難しました。公民館では、消防団員による放水訓練や市職員による防災についての講話が行われ、「災害が起きたときは、自分たちで地域を守らなくてはならない」という住民同士の共通認識を再確認していました。

5/25 地域がひとつになる ～平井小学校入退場門（杉の門）づくり～



▶伝統ある杉の門づくり。平井小学校は開校140周年を迎えます。

平井地区では、一度途絶えていた伝統ある杉の門づくりを8年ほど前に地域一体で復活させ、毎年実施しています。平井地区協議会、平井小PTAなどの地域の人たちが、地区内にある杉の木から枝を伐採し、杉の門をつくりあげました。また、国旗や校旗を掲揚する木柱が古くなったため、地域の人たちの手で新しい柱につくり換えられました。杉の門づくりの翌日に開催された平井小運動会では、子どもたちが杉でできた入退場門を元気に行進する姿が見られました。